

学修について

1. 履 修

(1) 履修とは

授業を受けて学修することです。

そのために、毎年その年度に履修する授業科目を登録しなくてはなりません。

(2) 履修登録

履修登録とは、その年度に履修しようとする授業科目を登録することです。登録後は原則として変更できませんし、履修登録をしていなければ、たとえ受講し期末試験に合格しても単位を得ることはできません。修了や免許・資格の取得条件に留意して学生各自の責任において誤りのないよう十分注意して下さい。履修登録は学生各自が責任を持って行うことが原則です。履修登録ミスや確認ミスは各自の責任ですので十分注意して下さい。

(3) 登録方法

本学では、指定期間内に各自でパソコンを使い、Web上で履修科目の登録手続きを行います。

Web履修登録はインターネット環境があれば、自宅など学外から手続きを行うことも可能です。

(4) 授業時間

1 時 限	9:00～10:30 (9:00～10:30)	4 時 限	14:50～16:20 (15:00～16:30)
2 時 限	10:45～12:15 (10:40～12:10)	5 時 限	16:35～18:05 (16:40～18:10)
昼 休 み	12:15～13:05 (12:10～13:20)	6 時 限	18:15～19:45 (18:20～19:50)
3 時 限	13:05～14:35 (13:20～14:50)	7 時 限	19:55～21:25 (20:00～21:30)

※行事によって、時間帯が変更される場合があります。

※2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、()内の授業時間帯にて実施します。

2. 試 験

(1) 試験の時期

学期を前学期と後学期に分けており、前学期・後学期それぞれ試験を実施しています。

(2) 単位の認定・評価

登録した授業科目は、60点以上の評価を得て初めて「単位」として認定されます。

成績の評点は100点満点です。評価内容は次のとおりです。

区分	評価	点数	
合格	S	100～90	成績証明書には「秀」と掲載されます。
	A	89～80	成績証明書には「優」と掲載されます。
	B	79～70	成績証明書には「良」と掲載されます。
	C	69～60	成績証明書には「可」と掲載されます。
不合格	D	59～0	不可(単位未認定です。再試験が実施される場合は、再試験で60点以上の評価が得られれば単位認定されます。)
	E		欠席(試験欠席の評価です。追試験を受け、60点以上の評価が得られれば単位認定されます。)
	F		不認定(出席回数不足の場合の評価です。単位を取得するためには、再度履修の必要があります。)

上記以外の評価記号にN(認定):他大学等で取得した科目があります。

履修上の注意事項

博士前期課程及び修士課程

《共通》

- ・中村学園大学大学院学則第22条により、履修授業科目について30単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた後、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。
- ・中村学園大学学位規程第4条により、1年次終了時点での修得単位数が16単位以上なければ、2年次に修士論文の作成・提出ができなくなるため注意すること。
- ※「特別研究」、「栄養科学実験・実習」、「特別演習」など、1～2年次配当科目は上記16単位に含まない。

《栄養科学研究科》

- ・指導教員が所属する部門の選択科目6単位以上、他部門の選択科目2単位以上、共通科目22単位（特別研究12単位を含む）、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた後、修士論文の審査および最終試験に合格すること。
- ・教職課程申請を行っていない者は、教職科目を履修することはできない。
- ※教職科目は専修免許取得のための開講科目である。詳細については、「中村学園大学大学院教職課程に関する規程」を参照のこと。

《教育学研究科》

修士課程（2年制・社会人1年制）

1. 指導教員が所属する系から3科目6単位以上
2. 1. 以外の各系から1科目2単位以上
3. 必修科目を除き、3系および3系共通科目の全体から1. 2. を含め合計16単位以上

《流通科学研究科》

2021年度以前入学生に適用

専攻系を選択し、その系の特別演習6単位および選択科目から10単位以上、各系共通科目（基礎科目）から8単位以上、さらに2つの系の選択科目全体から6単位以上、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた後、修士論文の審査および最終試験に合格すること。

「アカデミックライティング」は留学生必修科目のため、1年次に必ず履修すること。但し、当該科目は修了単位数に含まない。

2022年度以降入学生に適用

専攻系を選択し、その系の選択科目から10単位以上、各系共通科目（基礎科目）から8単位以上、さらに2つの系の選択科目全体および専門演習科目から4単位以上、専門演習科目から8単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた後、修士論文の審査および最終試験に合格すること。

「アカデミックライティング」は留学生必修科目のため、1年次に必ず履修すること。ただし、当該科目は修了単位数に含まない。

博士後期課程 《栄養科学研究科》

- ・ 中村学園大学大学院学則第23条により、履修授業科目について18単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた後、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学習の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことです。

本学の科目ナンバリングコードは、①開講学部・学科・研究科コード、②開講年次コード、③水準コード、④分野コード、⑤使用言語コード、⑥整理番号で構成されています。なお、科目ナンバリングコードは Web シラバスに記載されています。

【科目ナンバリングコード】

	①	②	③	④	⑤	—	⑥
(例)	NN	1	1	01	1	—	001

①開講学部・学科・研究科コード (2桁)

NN	栄養科学部 栄養科学科	MN	栄養科学研究科 博士前期課程
NS	栄養科学部 フード・マネジメント学科	DN	栄養科学研究科 博士後期課程
EE	教育学部 児童幼児教育学科	ME	教育学研究科 修士課程
BB	流通科学部 流通科学科	MB	流通科学研究科 修士課程
JF	短期大学部 食物栄養学科		
JH	短期大学部 キャリア開発学科	LA	教養教育科目
JC	短期大学部 幼児保育学科		

②開講年次コード (1桁)

1	1 年次配当
2	2 年次配当
3	3 年次配当
4	4 年次配当

③水準コード (1桁)

1	入門科目	学部・学科
2	基礎科目	
3	発展科目	
4	卒業論文科目、卒業研究科目	
5	大学院(修士、博士前期)専門科目(基礎的な内容の科目)	研究科
6	大学院(修士、博士前期)専門科目(発展的な内容の科目、研究指導科目)	
7	大学院(博士後期)専門科目(研究指導科目を含む)	
9	その他(海外への留学を内容とするもの、レベル分けが出来ない科目など)	

④分野コード（2桁）

栄養科学研究科 博士前期課程

01	共通
02	機能栄養科学
03	健康・病態栄養科学
04	食品科学
05	教職科目

栄養科学研究科 博士後期課程

01	共通
02	機能栄養科学
03	健康・病態栄養科学
04	食品科学

教育学研究科 修士課程

01	教育学系
02	保育教科教育系:自然科学
03	保育教科教育系:人文科学
04	保育教科教育系:体育・運動
05	保育教科教育系:芸術(美術・音楽)
06	保育教科教育系:4群共通
07	教育臨床系
08	3系共通

流通科学研究科 修士課程

2021年度以前入学生に適用

01	各系共通(基礎科目)
02	流通マーケティング系
03	流通マネジメント系

2022年度以降入学生に適用

01	各系共通(基礎科目)
02	経営学系科目
03	商学系科目
04	専門演習科目

⑤使用言語コード（1桁）

1	日本語
2	英語
3	日本語及び英語
4	その他

⑥整理番号（3桁）001からの連番

栄 養 科 学 研 究 科

(Graduate School of Nutritional Sciences)

栄養科学研究科博士前期課程 3つのポリシー

【教育目標】

栄養科学研究科博士前期課程は、機能栄養学、健康・病態栄養科学、食品科学の各専門分野において、食を通じて人々の健康増進に貢献することができる高度専門職業人、研究者並びに教育指導者を育成します。

【ディプロマポリシー】

本研究科は、次のような資質・能力を有すると認められた者に修士（栄養科学）の学位を授与します。

1. 食を通じて人々の健康増進に貢献することができる高度専門職業人、研究者並びに教育指導者としての能力とその基盤となる栄養科学に関する幅広い知識と技能を身につけている。
2. 機能栄養学、健康・病態栄養科学、食品科学の専門分野における重要課題を自ら特定し、課題解決のための研究計画又は実行計画を立案し実施する能力を身につけている。

【カリキュラムポリシー】

本研究科は、ディプロマポリシーに示す資質・能力の修得のため、以下の教育課程を編成しています。

1. 必修科目として、機能栄養学部門、健康・病態栄養科学部門、食品科学部門の全研究指導教員による「栄養科学総合講義」を課し、栄養科学に関する幅広い知識を教授する。
2. 必修科目として、実験・実習、演習科目を課し、知識と技能の統合を図る。
3. 選択科目として、各部門の専門的知識と技能を教授する特論科目を開設する。
4. 「特別研究」では、専攻部門で修得した知識と技能を応用し、修士論文作成を義務付け、主体的に考え課題解決できる力を持った人材の育成を図る。
5. 選択科目として、中学校・高等学校（家庭）及び栄養教諭の専修免許取得のための教職課程科目を開設する。
6. 研究科主催の国内外の栄養科学領域研究者によるワークショップ、特別講演会、セミナーへの参加を促すことにより、グローバルな視点での学修を図る。
7. 昼夜開講制により社会人が学修できる教育課程を編成する。

【アドミッションポリシー】

本研究科は、次のような資質・能力・意欲を有している人を受け入れます。

1. 食を通じて人々の健康増進に貢献することができる高度専門職業人、研究者並びに教育指導者となることを希望する人
2. 栄養科学に関する知識・技能の修得に熱意を有し、真摯に遂行できる人
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶことができる人

入学者選抜方法については、推薦入学選考、試験入学選考、社会人特別入学選考、外国人留学生特別入学選考に分け、ふさわしい人材を選抜しています。

栄養科学研究科 学位論文審査基準

【修士論文】

修士論文の審査にあたっては、中村学園大学学位規程第 7 条およびディプロマポリシーに基づき、以下の項目について審査委員により総合的に評価し、可否を判定する。

1. 学術上意義ある研究目的が設定されていること
2. 論文の題目、構成が適切であること
3. 先行研究が十分に検討されていること
4. 研究内容が学術的な独自性を有していること
5. 研究方法が研究目的に即した適切なものであること
6. 文献資料の使用ならびにデータの整理・分析が適切になされていること
7. 研究遂行上の倫理が遵守されていること
8. 公開審査会における発表および質問への回答が的確に行われること

令和4年度 栄養科学研究科 博士前期課程 所属教員一覧

課程	部門	分野	担当教員名
博士前期	機能栄養科学部門	分子栄養学	◎河手 久弥
			◎信久 幾夫
		栄養生理・形態学	◎大和 孝子
			◎日野真一郎
	健康・病態栄養科学部門	臨床栄養学	◎今井 克己
			◎加藤 正樹
			◎久保 千春
			◎野崎 剛弘
			◎安武健一郎
			○近江 雅代
			○森口里利子
		健康増進科学	◎熊原 秀晃
			○内田 和宏
		薬膳・食機能科学	◎末武 勲
			◎徳井 教孝
	食品科学部門	食品機能学	◎沖 智之
		環境栄養学	○太田 千穂

◎研究指導教員

○研究指導補助教員

兼担・兼任教員 所属一覧

教員名	所属
江口 陽子	基山町立基山小学校 校長（令和3年度3月まで）
木村 秀喜	本学 栄養科学部栄養科学科
古賀 信幸	本学 栄養科学部栄養科学科（令和3年度3月まで）
三成 由美	本学 栄養科学部栄養科学科
吉谷 武志	本学 栄養科学部栄養科学科

栄養科学研究科 博士前期課程

部 門	授 業 科 目	開 講 年 次		単位数		免 許 ・ 資 格 単 位	
				必修	選択	中 ・ 高専修	栄教専修
共通	栄養科学総合講義	1	前学期	4		A	
	栄養科学実験・実習	1～2	通年	2		A	
	栄養統計学演習	1	後学期	1			ア
	運動健康増進演習	1	後学期	1			ア
	栄養療法演習	1	後学期	1		A	
	栄養管理演習	1	後学期	1			ア
	特別研究	1～2	通年	12			
機能栄養科学	栄養生化学特論	1	前学期		2	B	
	栄養内分泌学特論	1	前学期		2		イ
	栄養生理学特論	1	前学期		2	B	
	栄養形態学特論	1	前学期		2		イ
健康・病態栄養科学	臨床栄養学特論	1	前学期		2	B	
	疾病予防特論	1	前学期		2		イ
	栄養治療学特論	1	前学期		2		イ
	健康増進科学特論	1	前学期		2	B	
	栄養疫学特論	1	前学期		2		イ
	遺伝子栄養学特論	1	前学期		2	B	
	薬膳健康科学特論	1	前学期		2	B	
	食機能栄養学特論	1	前学期		2		イ
食品科学	食品科学特論	1	前学期		2	B	
	食品機能学特論	1	前学期		2	B	
	食品安全学特論	1	前学期		2		イ

教職科目	栄養教育特論	1	後学期		2		ア
	栄養教育特論演習	1	後学期		2		ア
	教育心理学特論	1	後学期		2	A	ア
	発達心理学特論	1	後学期		2	A	ア
	教育臨床心理学特論	1	前学期		2	A	ア
	家族発達支援論	1	前学期		2	A	ア

・中学校・高等学校教諭専修（家庭）免許状取得希望者は、Aを全て修得、Bから9単位以上修得して下さい。

・栄養教諭専修免許状取得希望者は、アを全て修得、イから9単位以上修得して下さい。

入学から学位授与までの流れ (栄養科学研究科 博士前期課程)

入学前		研究指導教員との面談 研究計画書(案)の作成	
1年次	4月初旬	履修登録 「履修上の注意事項」をよく読み、期日までにweb上で履修登録を行ってください。 課程修了1年前(=1年次末)までに16単位以上を修得していなければ、2年次で修士論文の提出ができなくなりますので、ご注意ください。(学位規程第4条1項)	学会発表等
	5月	副指導教員選出 主指導教員が副指導教員1名を指名し、研究科長に届け出ます。	
	6月中旬	研究計画書の提出 様式をUNIPAからダウンロードし、期日までに教務部へ提出してください。	
2年次	5～6月	中間発表会	修士論文の作成
	11月中旬	論文テーマの提出 様式をUNIPAからダウンロードし、期日までに教務部へ提出してください。	
	11月末	論文審査委員の選出 提出された論文テーマをもとに、論文審査委員3名(主査1名、副査2名)が選出されます。 主査は研究指導教員の中から、副査はテーマに関連する教員が担当します。 審査委員決定後は、掲示にてお知らせします。	
	1月下旬	修士論文の提出 修士論文審査申請書1部、主論文3部、修士論文概要書4部を、期日までに教務部へ提出してください。各種様式は、UNIPAからダウンロードできます。 なお、自分が過去に論文として発表したものがあれば、参考論文(3部)を添付することも可能です。 [参考]修士論文書式…A4版、横書き、活字10.5～12ポイント、1行30字、1ページ25行 縦型 左綴(余白:左4cm、右2.5cm、上3cm、下3cm)を目安に作成してください。	
	1月末	公開審査会用抄録の提出 A4版2枚 横書き 活字10～10.5ポイント 行間6～7mm 1行35字 1ページ37行 縦型 余白は左3cm 右3cm 上3cm 下3cmを目安に作成してください。 抄録は緒言、方法、結果、考察(結果と考察は一緒にでもよい)、参考文献から構成されていて、少なくとも1つの表またはグラフを入れた印象的な抄録にするように心がけてください。 ※PDFファイルに交換のうえ、メールに添付して提出してください。	
	2月中旬	修士論文公開審査会 1題30分(発表15分、質疑応答15分)で、公開審査が行われます。	
	2月中旬	修士論文審査会 研究指導教員により、修士論文の審査(合否判定)が行われます。	
	審査終了後 1週間以内	修士論文(最終版)の提出 公開審査会後、修正等があった場合は整備したうえ、紙媒体で2部提出してください。 製本したものを本学図書館に保管します。なお、ご自身用に製本を希望される場合は、その冊数分、論文を提出してください。(ただし、個人用製本代は自己負担。1冊4,000円程度。)	
	2月下旬	学位授与の判定 履修授業科目の単位修得及び論文審査結果により、学位授与の判定がなされます。	
	2月下旬	学長による修了の認定	
	3月中旬	学位授与 学位記授与式後、研究科ごとのセレモニーにおいて、研究科長から学位記が授与されます。 また、ご自身用に修士論文製本版を希望された方は、学位記授与式当日にお渡しします。	論文審査

研究指導教員と相談のうえ、学会や研究会等に出席される場合は、旅費、宿泊費、学会参加費を特別研究費から支出することができます。(支出に制限あり)
詳細は「大学院生特別研究費の取扱いについて」をご参照ください。
手続き等、不明な点があれば事前に教務部へご相談ください。

栄養科学研究科博士後期課程 3つのポリシー

【教育目標】

栄養科学研究科博士後期課程は、機能栄養学、健康・病態栄養科学、食品科学の各専門分野において、広く社会に貢献できる自立した研究者並びに栄養科学実践者を育成します。

【ディプロマポリシー】

本研究科は、次のような資質・能力を有すると認められた者に博士（栄養科学）の学位を授与します。

1. 栄養科学領域の自立した研究者並びに栄養科学実践者としての能力とその基盤となる高度な専門的知識と技能を身につけている。
2. グローバルな視点で食を通じて人々の健康増進に寄与できる。
3. 機能栄養学、健康・病態栄養科学、食品科学の専門分野における重要課題を自ら特定し、課題解決のための研究計画又は実行計画を立案し実施する能力を身につけ、国際的に情報を発信することができる。

【カリキュラムポリシー】

本研究科は、ディプロマポリシーに示す資質・能力の修得のため、以下の教育課程を編成しています。

1. 必修科目として、機能栄養科学系、健康・病態栄養科学系、食品科学系の全授業担当教員による「栄養科学概論」を課し、栄養科学に関する高度な幅広い知識を教授する。
2. 選択科目として、各系の高度な専門的知識と技能を教授する概論科目を開設する。
3. 「特別研究」では、専攻系で修得した高度な専門的知識と技能を応用し、博士論文作成を支援し、研究者として自立して活動し、高度な専門業務に従事できるグローバルな視点を持った人材の育成を図る。
4. 研究科主催の国内外の栄養科学領域研究者によるワークショップ、特別講演会、セミナーへの参加及び国際学会などでの研究成果の発表を推進することにより、国際社会におけるコミュニケーション能力及び情報発信能力を育成する。

【アドミッションポリシー】

本研究科は、次のような資質・能力・意欲を有している人を受け入れます。

1. 人々の健康増進に寄与できる自立した栄養科学領域の研究者並びに栄養科学実践者となることを希望する人
2. 栄養科学領域の研究に対する熱意を有し、真摯に遂行できる人
3. 国際的に情報を発信する能力を有する人、またはその修得を望む人

入学者選抜方法については、試験入学選考により、ふさわしい人材を選抜しています。

栄養科学研究科 学位論文審査基準

【博士論文】

博士論文の審査にあたっては、中村学園大学学位規程第 16 条およびディプロマポリシーに基づき、以下の項目について審査委員により総合的に評価し、可否を判定する。

1. 学術上意義ある研究目的が設定されていること
2. 論文の題目、構成が適切であること
3. 先行研究が十分に検討されていること
4. 研究内容が学術的な独自性を有していること
5. 研究方法が研究目的に即した適切なものであること
6. 文献資料の使用ならびにデータの整理・分析が適切になされていること
7. 研究遂行上の倫理が遵守されていること
8. 公開審査会における発表および質問への回答が的確に行われること
9. 当該研究分野の発展に大きく寄与する学術的内容を含むこと
10. 関連事項について高い学識を有すると判断されること
11. 英語による当該分野の最先端の知識や技術の習得および国際的に情報を発信する能力を有すること

令和 4 年度 栄養科学研究科 博士後期課程 所属教員一覧

課程	系	担当教員名
博士後期	機能栄養科学系	◎河手 久弥
		◎信久 幾夫
		◎日野真一郎
		○大和 孝子
	健康・病態栄養科学系	◎加藤 正樹
		◎久保 千春
		◎熊原 秀晃
		◎末武 勲
		◎野崎 剛弘
		○安武健一郎
	食品科学系	◎沖 智之

◎研究指導教員

○研究指導補助教員

兼担・兼任教員 所属一覧

教員名	所属
徳井 教孝	本学 薬膳科学研究所
三成 由美	本学 栄養科学部栄養科学科

栄養科学研究科 博士後期課程

系	授 業 科 目	開講年次		単位数	
		年次	期	必修	選択
共通	栄養科学概論	1	通年	4	
機能栄養科学	機能栄養科学特別研究	1～3	通年		12
	機能栄養科学概論	2	前期		2
健康・病態栄養科学	病態栄養科学特別研究	1～3	通年		12
	病態栄養科学概論	2	前期		2
食品科学	食品科学特別研究	1～3	通年		12
	食品科学概論	2	前期		2

入学から学位授与までの流れ

(栄養科学研究科 博士後期課程)

入学前		研究指導教員との面談 研究計画書(案)の作成	
1年次	4月初旬	履修登録 期日までにweb上で履修登録を行ってください。	学会発表等
	5月	副指導教員選出 主指導教員が副指導教員1名を指名し、研究科長に届け出ます。	
	6月中旬	研究計画書の提出 様式をUNIPAからダウンロードし、期日までに教務部へ提出してください。	
2年	5～6月	中間発表会	研究指導教員と相談のうえ、学会や研究会等に出席される場合は、旅費、宿泊費、学会参加費を特別研究費から支出することになります。(支出に制限あり) 詳細は「大学院生特別研究費の取り扱い」を「を」参照ください。 手続き等、不明な点があれば事前に教務部へご相談ください。
	5～6月	中間発表会	
3年次	12月上旬	掲載誌の受理証明書の提出 学位論文の条件は、以下のとおりです。 ・原則として単著の原著論文 ・共著の場合は、次の要件を備えていなければならない。 (1) 申請者は、筆頭著者であること (2) 申請者は、他の共著者から当該論文を学位論文とする旨の承諾を得ていること (3) 申請者は、他の共著者が当該論文を学位論文として使用しない旨の承諾を得ていること (4) 申請者及び他の共著者は、当該論文の中で自己が担当した部分を明確にすること ・学位申請論文は、未発表の内容として、原則として権威ある国内外の学術誌に印刷・公表されたもの(原則として英文学術雑誌(JCR記載雑誌)への掲載論文1報を基準とする。) ・未公表の場合は、掲載誌の受理証明書をもって公表論文とみなす。その場合、学位申請論文が印刷公表されたときは、直ちに別刷を提出すること。	
	12月上旬	論文テーマの提出 様式をUNIPAからダウンロードし、期日までに教務部へ提出してください。	
	12月～1月末	論文審査委員の選出 提出された論文テーマをもとに論文審査委員3名(主査1名、副査2名)が選出されますが、研究指導教員は副査となります。また、学外審査委員2名も加わり、あわせて5名の審査委員決定後、掲示にてお知らせします。	
	1月下旬	博士論文の提出 博士論文審査願(様式第1号)1通、論文目録(様式第3号)6通、参考論文(様式第5号)6通、博士論文要旨(様式第6号)6通、履歴書(様式第7号)6通、共著者承諾書(様式第8号)1通、共著論文報告書(様式第9号)1通、博士論文のインターネット公表確認書(様式第17号)1通、および博士論文5部、参考論文5部(添付可)を期日までに教務部へ提出してください。各種様式は、UNIPAからダウンロードしてください。	
	1月末	公開審査会用抄録の提出 A4版2枚 横書き 活字10～10.5ポイント 行間6～7mm 1行35字 1ページ37行 縦型 余白は左3cm 右3cm 上3cm 下3cmを目安に作成してください。 抄録は緒言、方法、結果、考察(結果と考察は一緒にしてもよい)、参考文献から構成されていて、少なくとも1つの表またはグラフを入れた印象的な抄録にするように心がけてください。 ※PDFファイルに変換のうえ、メールに添付して提出してください。	
	2月中旬	博士論文公開審査会 1題60分(発表30分、質疑応答30分)で、公開審査が行われます。	
	2月中旬	博士論文審査会 研究指導教員により、博士論文の審査(合否判定)が行われます。	
	2月下旬	学位授与の判定 履修授業科目の単位修得及び論文審査結果により、学位授与の判定がなされます。	
	2月下旬	学長による修了の認定	
	3月中旬	学位授与	

博士論文の作成

論文審査

教育学研究科

(Graduate School of Education)

教育学研究科 3つのポリシー(令和4年度以降入学生適用)

【教育目標】

教育学研究科は、人間形成の土台となる乳幼児・児童期の発達に関わる研究を行い、保育学・初等教育学に関して高度な専門性を有する研究者・教育実践者の育成を目標とします。

【ディプロマポリシー】

本研究科は、次のような資質・能力を有すると認められた者に修士（教育学）の学位を授与します。

1. 教育または保育の理論、制度、歴史、社会情勢、指導または支援等に関する幅広い専門的知識を身に付けている。
2. 教育または保育に関する諸問題に対して、実証可能な問いを的確に設定することができる能力、解を導くための適切な方法を考えデザインすることができる能力、その方法を遂行でき最適な解を導くことができる課題解決能力を身に付けている。
3. 上述の知識や課題解決能力を教育または保育、関連領域に関する研究課題に応用し活用できる研究遂行能力を身に付けている。
4. 主体性、積極性を有し、他者と協働しながら問題解決や研究課題に取り組み、その成果をまとめ、他者に分かりやすく発信する能力を身に付けている。
5. 教育または保育、関連領域に携わる高度専門職業人として相応しい倫理観、価値観を身に付けている。

【カリキュラムポリシー】

本研究科は、ディプロマポリシーに掲げる資質・能力の修得のため、以下に示す教育課程を編成するとともに学修方針を定めています。

1. 学修のための枠組みとして「教育学系」「保育・教科教育系」「教育臨床系」の3つの系を置いている。
2. 各系における教育課程編成は、それぞれの分野における高度な専門的知識の修得を図ることを基本としている。大学院生は3系から1つを選択し、その系の専門分野に即した学修を行うが、他系科目の履修による幅広い学修も確保されている。
3. 大学院の学修における中心は修士論文作成である。修士論文の作成を通じて高度な研究遂行能力の涵養を図っている。修士論文作成のための必修科目として「研究方法論」と「特別研究」を置いている。「特別研究」は指導教員が担当し、そこにおいて修士論文作成のための具体的な指導がなされる。修士論文の評価は「教育学研究科学位論文審査基準」にしたがって行われる。
4. 教育学研究科の授業のほとんどは少人数教育で行われ、教員と大学院生によるディスカッションを通じての授業への能動的参加を促進している。
5. 本学付属の幼稚園、保育園、発達支援センターと連携した学修を通じて、保育や発達支援の現場実践に即した課題解決能力の涵養を図っている。

【アドミッションポリシー】

本研究科は、次のような資質・能力・意欲を有している人を受け入れます。

1. 本研究科での学修にとって必要な学力的基盤を有している人
2. 本研究科で学修したいという強い目的意識と熱意を有している人
3. 本研究科修了後に、修得した専門的知識、実践力及び研究遂行能力を高度専門職業人として活用する意欲を持っている人

これらの資質・能力・意欲を書類審査、筆記試験、面接によって総合的に評価します。

教育学研究科 3つのポリシー(令和3年度以前入学生適用)

【教育目標】

教育学研究科は、子供の発達、教育、保育に関わる専門分野における確かな理論的基盤とともに、学校、幼稚園、保育所、福祉施設など、教育・保育の現場における優れた実践力を備えた専門家を養成します。

【ディプロマポリシー】

本研究科は、次のような資質・能力を有すると認められた者に修士（教育学）の学位を授与します。

1. 教育学、教科教育学、保育学、発達心理学、教育心理学、児童福祉学等の専門分野における高度な研究遂行能力を身につけている。
2. 教育・保育に関わる実践現場（学校、幼稚園、保育所、福祉施設等）での課題解決においてリーダーとして活動できる。

【カリキュラムポリシー】

本研究科は、ディプロマポリシーに掲げる資質・能力の修得のため、以下に示す教育課程を編成するとともに学修方針を定めています。

1. 学修のための枠組みとして「教育学系」「保育・教科教育学系」「教育臨床系」の3つの系を置いている。
2. 各系における教育課程編成は、それぞれの分野における高度な専門的知識の修得を図ることを基本としている。大学院生は3系から1つを選択し、その系の専門分野に即した学修を行うが、他系科目の履修による幅広い学修も確保されている。
3. 大学院の学修における中心は修士論文作成である。修士論文の作成を通じて高度な研究遂行能力の涵養を図っている。修士論文作成のための必修科目として「研究方法論」と「特別研究」を置いている。「特別研究」は指導教員が担当し、そこにおいて修士論文作成のための具体的な指導がなされる。修士論文の評価は「教育学研究科学位論文審査基準」にしたがって行われる。
4. 教育学研究科の授業のほとんどは少人数教育で行われ、教員と大学院生によるディスカッションを通じての授業への能動的参加を促進している。
5. 本学付属の幼稚園、保育園、発達支援センターと連携した学修を通じて、保育や発達支援の現場実践に即した課題解決能力の涵養を図っている。

【アドミッションポリシー】

本研究科は、次のような資質・能力・意欲を有している人を受け入れます。

1. 大学院の学修にとって必要な学力的基盤と修士論文作成のための基礎的研究遂行能力を有している人
2. 教育・保育と子供の発達に関わる諸問題を研究し、修得した専門的能力を職業人として活かしたい人
3. 教育・保育の現場における実践経験の上に立って、より高度な専門的知識や実践力を身につけ、教育・保育の現場で活用しようと意欲を持っている人
4. 基礎と臨床の視点から子供、家族、子育てについて理解を深めるとともに、発達支援に携わりたい人

これらの資質・能力・意欲を書類審査、筆記試験、面接によって総合的に評価します。

教育学研究科 学位論文審査基準

【修士論文】

修士論文の審査にあたっては、ディプロマポリシーに即した、主査 1 名、副査 2 名による以下の項目に関する総合的評価に基づき、研究指導教員の合議の上、可否を判定する。

1. 学術上意義ある研究目的が設定されていること
2. 論文の題目、構成が適切であること
3. 先行研究が十分に検討されていること
4. 研究内容が学術的な独自性を有していること
5. 研究方法が研究目的に即した適切なものであること
6. 文献資料の使用ならびにデータの整理・分析が適切になされていること
7. 研究遂行上の倫理が遵守されていること
8. 公開審査会における発表および質問への回答が的確に行われること

令和4年度 教育学研究科 所属教員一覧

課程	系	担当教員名
修士	教育学系	◎圓入 智仁
		◎山本 朋弘
	保育・教科教育系	◎那須 信樹
		◎古相 正美
		○石田 靖弘
		○中島 憲子
		○平田 繁
	教育臨床系	◎笠原 正洋
		◎中野 裕史
		◎吉川 昌子
		◎野上 俊一
		○益田 仁

◎研究指導教員

○研究指導補助教員

教育学研究科 修士課程(令和4年度以降入学生に適用)

系	群	授 業 科 目	開講年次		単位数		免許・資格単位	
			年次	期	必修	選択	小専修	幼専修
教育学系		教育学特論Ⅰ(教育原理)	1・2	前学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅱ(教育制度)	1・2	前学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅲ(教育史)	1・2	後学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅳ(比較教育学)	1・2	後学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅴ(保育原理)	1・2	後学期		2		ア
		教育学特論Ⅵ(教育福祉学)	1・2	後学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅶ(教育工学)	1・2	前学期		2	A	ア
保育・ 教科教育系	保育専門科目群	保育発達特論Ⅰ(言葉)	1・2	前学期		2		ア
		保育発達特論Ⅱ(運動)	1・2	前学期		2		ア
		保育発達特論Ⅲ(造形)	1・2	前学期		2		ア
		保育発達特論Ⅳ(音楽)	1・2	前学期		2		ア
		保育経営特論	1・2	前学期		2		
		保育課程特論	1・2	後学期		2		
	小学校専門科目群	教科教育特論Ⅰ(算数)	1・2	前学期		2	A	
		教科教育特論Ⅱ(理科)	1・2	後学期		2	A	
		教科教育特論Ⅲ(国語)	1・2	後学期		2	A	
		教科教育特論Ⅳ(社会)	1・2	前学期		2		
		教科教育特論Ⅴ(英語)	1・2	後学期		2		
		教科教育特論Ⅵ(体育)	1・2	前学期		2	A	
		教科教育特論Ⅶ(音楽)	1・2	後学期		2	A	
		教科教育特論Ⅷ(図工)	1・2	後学期		2		
		自然科学特論	1・2	後学期		2		
		体育学特論	1・2	後学期		2		
教育臨床系		発達神経科学特論	1・2	前学期		2		
		教育心理学特論	1・2	後学期		2	A	ア
		発達心理学特論	1・2	後学期		2	A	ア
		教育臨床心理学特論	1・2	前学期		2	A	ア
		家族発達支援論	1・2	前学期		2	A	ア
		家族社会学特論	1・2	後学期		2		
		児童精神医学	1・2	後学期		2		
		発達臨床実習研究	1・2	前学期		2		
		発達臨床実習	1・2	通年		2		
3系共通		障害児臨床特論	1・2	後学期		2		
		特別研究A ※1	1	前学期	2			
		特別研究B ※1	1	後学期	2			
		特別研究C ※1	1・2	前学期	2			
		特別研究D ※1	1・2	後学期	2			
		研究方法論Ⅰ(人文科学研究法)	1	前学期	2			
		研究方法論Ⅱ(自然科学研究法)	1	前学期	2			
		研究方法論Ⅲ(研究デザイン)	1	後学期	2			
		研究方法論Ⅳ(統計)	1	後学期		2		

・小学校専修免許状取得希望者は、Aから24単位以上修得して下さい。

・幼稚園専修免許状取得希望者は、アから24単位以上修得して下さい。

※1 特別研究の履修について

・修士課程2年制(3年間の長期履修を含む)の方は次の通り履修して下さい。

- ┌ 1年前学期「特別研究A」後学期「特別研究B」
- └ 2年前学期「特別研究C」後学期「特別研究D」

・社会人1年制の方は次の通り履修して下さい。

- ┌ 1年前学期「特別研究A」「特別研究C」
- └ 1年後学期「特別研究B」「特別研究D」

教育学研究科 修士課程(令和3年度以前入学生に適用)

系	群	授 業 科 目	開講年次		単位数		免許・資格単位	
			年次	期	必修	選択	小専修	幼専修
教育学系		教育学特論Ⅰ	1・2	前学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅱ	1・2	後学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅲ	1・2	後学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅳ	1・2	後学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅴ	1・2	後学期		2		ア
		教育学特論Ⅵ	1・2	後学期		2	A	ア
		教育学特論Ⅶ	1・2	前学期		2	A	ア
保育・教科教育系	自然科学	教科教育特論Ⅰ(算数)	1・2	前学期		2	A	
		教科教育特論Ⅱ(理科)	1・2	後学期		2	A	
		自然科学特論	1・2	後学期		2		
	人文科学	教科教育特論Ⅲ(国語)	1・2	後学期		2	A	
		教科教育特論Ⅳ(社会)	1・2	前学期		2		
		教科教育特論Ⅴ(英語)	1・2	後学期		2		
		保育発達特論Ⅰ(言葉)	1・2	前学期		2		ア
	運動・体育	体育学特論	1・2	後学期		2		
		教科教育特論Ⅵ(体育)	1・2	前学期		2	A	
		保育発達特論Ⅱ(運動)	1・2	前学期		2		ア
		教科教育特論Ⅶ(音楽)	1・2	後学期		2	A	
	(美術・芸術・音楽)	教科教育特論Ⅷ(図工)	1・2	後学期		2		
		保育発達特論Ⅲ(造形)	1・2	前学期		2		ア
		保育発達特論Ⅳ(音楽)	1・2	前学期		2		ア
		保育経営特論	1・2	前学期		2		
教育臨床系	4 共通群	発達神経科学特論	1・2	前学期		2		
		教育心理学特論	1・2	後学期		2	A	ア
		発達心理学特論	1・2	後学期		2	A	ア
		教育臨床心理学特論	1・2	前学期		2	A	ア
		家族発達支援論	1・2	前学期		2	A	ア
		家族社会学特論	1・2	後学期		2		
		児童精神医学	1・2	後学期		2		
		発達臨床実習研究	1・2	前学期		2		
		発達臨床実習	1・2	通年		2		
		障害児臨床特論	1・2	後学期		2		
3 系 共通		特別研究A ※1	1	前学期	2			
		特別研究B ※1	1	後学期	2			
		特別研究C ※1	1・2	前学期	2			
		特別研究D ※1	1・2	後学期	2			
		研究方法論Ⅰ	1	前学期	2			
		研究方法論Ⅱ	1	前学期	2			
		研究方法論Ⅲ	1	後学期	2			
		研究方法論Ⅳ	1	後学期		2		

・小学校専修免許状取得希望者は、Aから24単位以上修得して下さい。

・幼稚園専修免許状取得希望者は、アから24単位以上修得して下さい。

※1 特別研究の履修について

・修士課程2年制(3年間の長期履修を含む)の方は次の通り履修して下さい。

- ┌ 1年前学期「特別研究A」後学期「特別研究B」
- └ 2年前学期「特別研究C」後学期「特別研究D」

・社会人1年制の方は次の通り履修して下さい。

- ┌ 1年前学期「特別研究A」「特別研究C」
- └ 1年後学期「特別研究B」「特別研究D」

入学から学位授与までの流れ (教育学研究科 修士課程2年制)

入学前		研究指導教員との面談 研究計画書(案)の作成	
1年次	4月初旬	履修登録 「履修上の注意事項」をよく読み、期日までにweb上で履修登録を行ってください。 課程修了1年前(=1年次末)までに16単位以上を修得していなければ、2年次で修士論文の提出ができなくなりますので、ご注意ください。(学位規程第4条1項)	学 会 調 査 等 研究指導教員と相談のうえ、学会や研究会等から出席される場合は、旅費、宿泊費、学会参加費から支出することができず、(支出に制限あり)詳細は「大学院生特別研究費の取扱いについて」をご参照ください。手続き等、不明な点があれば事前に教務部へご相談を。
	11月末日	副指導教員届出 主指導教員が副指導教員1名を指名し、研究科長に届け出ます。	
2年次	4月末	中間発表会 1題15分(発表10分、質疑応答5分)で、中間発表会が行われます。	修士論文の作成 論文審査
	10月下旬	論文テーマの提出 様式をUNIPAからダウンロードし、期日までに指導教員を通して研究科長へ提出してください。	
	10月下旬	論文審査委員の選出 提出された論文テーマをもとに、論文審査委員3名(主査1名、副査2名)が選出されます。 主査は指導教員、副査はテーマに関連する教員が担当します。 審査委員決定後は、掲示にてお知らせします。	
	1月末	修士論文の提出 修士論文審査申請書1部、主論文3部、修士論文概要書4部を、期日までに教務部へ提出してください。各種様式は、UNIPAからダウンロードできます。 なお、自分が過去に論文として発表したものがあれば、参考論文(3部)を添付することも可能です。 [参考]修士論文書式…A4版、横書き、活字10.5～12ポイント、1行30字、1ページ25行、縦型、左綴じ(余白:左4cm、右2.5cm、上3cm、下3cm)、表紙をつけて3部別々にファイルに綴じてください。	
	2月上旬	修士論文公開審査会用抄録の作成 30部を目処に自身で印刷・製本し、修士論文公開審査会当日、会場に持参してください。(様式自由)	
	2月中旬	修士論文公開審査会 1題30分(発表15分、質疑応答15分)で、公開審査が行われます。	
	2月中旬	修士論文審査会 研究指導教員により、修士論文の審査(合否判定)が行われます。	
	審査終了後 1週間以内	修士論文(最終版)の提出 公開審査会後、修正等があった場合は整備したうえ、紙媒体で2部提出してください。黒表紙で製本したものを本学図書館及び指導教員にて保管します。なお、ご自身用に製本を希望される場合は、その冊数分、論文を提出してください。(ただし、個人用製本代は自己負担。1冊4,000円程度。)	
	2月下旬	学位授与の判定 履修授業科目の単位修得及び論文審査結果により、学位授与の判定がなされます。	
	2月下旬	学長による修了の認定	
	3月中旬	学位授与 学位記授与式後、研究科ごとのセレモニーにおいて、研究科長から学位記が授与されます。 また、ご自身用に修士論文製本版を希望された方は、学位記授与式当日にお渡しします。	

入学から学位授与までの流れ (教育学研究科 修士課程社会人1年制)

入学前

研究指導教員との面談
研究計画書(案)の作成

4月初旬

履修登録

「履修上の注意事項」をよく読み、期日までにweb上で履修登録を行ってください。
修了要件単位修得見込みの上、課程修了年度の1月末までに修士論文を提出しなければいけませんので、ご注意ください。(学位規程第4条6項)

4月末

副指導教員届出

主指導教員が副指導教員1名を指名し、研究科長に届け出ます。

4月末

中間発表会

5月末

1題15分(発表10分、質疑応答5分)で、中間発表会が行われます。

10月下旬

論文テーマの提出

様式をUNIPAからダウンロードし、期日までに指導教員を通して研究科長へ提出してください。

10月下旬

論文審査委員の選出

提出された論文テーマをもとに、論文審査委員3名(主査1名、副査2名)が選出されます。
主査は指導教員、副査はテーマに関連する教員が担当します。
審査委員決定後は、掲示にてお知らせします。

1月末

修士論文の提出

修士論文審査申請書1部、主論文3部、修士論文概要書4部を、期日までに教務部へ提出してください。各種様式は、UNIPAからダウンロードできます。
なお、自分が過去に論文として発表したものがあれば、参考論文(3部)を添付することも可能です。
[参考]修士論文書式…A4版、横書き、活字10.5～12ポイント、1行30字、1ページ25行、縦型、左綴じ(余白:左4cm、右2.5cm、上3cm、下3cm)、表紙をつけて3部別々にファイルに綴じてください。

2月上旬

修士論文公開審査会用抄録の作成

30部を目処に自身で印刷・製本し、修士論文公開審査会当日、会場に持参してください。(様式自由)

2月中旬

修士論文公開審査会

1題30分(発表15分、質疑応答15分)で、公開審査が行われます。

2月中旬

修士論文審査会

研究指導教員により、修士論文の審査(合否判定)が行われます。

審査終了後
1週間以内

修士論文(最終版)の提出

公開審査会後、修正等があった場合は整備したうえ、紙媒体で2部提出してください。黒表紙で製本したものを本学図書館及び指導教員にて保管します。なお、ご自身用に製本を希望される場合は、その冊数分、論文を提出してください。(ただし、個人用製本代は自己負担。1冊4,000円程度。)

2月下旬

学位授与の判定

履修授業科目の単位修得及び論文審査結果により、学位授与の判定がなされます。

2月下旬

学長による修了の認定

3月中旬

学位授与

学位記授与式後、研究科ごとのセレモニーにおいて、研究科長から学位記が授与されます。
また、ご自身用に修士論文製本版を希望された方は、学位記授与式当日にお渡しします。

学 会 調 査 等

研究指導教員と相談のうえ、学会や研究会等へ出席される場合は、旅費、宿泊費、学会参加費を特別研究費から支出することができます。詳細は「大学院生特別研究費の取扱いについて」をご参照ください。手続き等、不明な点があれば事前に教務部へご相談を。

修士論文の作成

論文審査

1年次

流通科学研究科

(Graduate School of Business,Marketing and Distribution)

流通科学研究科 3つのポリシー(令和4年度以降入学生適用)

【教育目標】

流通科学研究科は、研究指導を中心としながらも、大学院修士課程に対する社会的要請並びに専門家育成に対する流通分野の産業界からの要望に応じて、次代を担う流通科学のプロフェッショナルを育成します。

【ディプロマポリシー】

本研究科は、次の能力を備え、所定の単位を修めた者に修士（流通科学）の学位を授与します。

1. 経営学分野又は商学分野における専門的知識を持ち、高度な研究遂行能力を身に付けている。
2. 社会の状況の変化に対応し、課題解決において指導的活躍ができる。

【カリキュラムポリシー】

本研究科のカリキュラムは、本学流通科学部の教育研究分野と連動させ、研究指導及び流通専門職を育成することを基本方針として編成しています。

1. 基礎科目を「各系共通（基礎科目）」の区分に配置する。
2. 専門科目を「経営学系科目」と「商学系科目」の2つの系統に配置する。
3. 修士論文作成に資する知識及び技能を修得するための「専門演習科目」を配置する。
4. 学修成果については、各授業科目のシラバスに明記した成績評価基準に基づき厳格な成績評価を行う。また、修士論文については、論文審査基準に基づき、主査1名、副査2名により総合的な評価を行う。

【アドミッションポリシー】

本研究科は、次のような資質と能力と意欲を備えている人を受け入れます。

1. 経営学分野又は商学分野に関連する基礎的知識を備えている人
2. 経営学分野又は商学分野に関連する専門的知識と適切な問題解決能力を修得しようとする意欲と探求心を持っている人
3. 発見した課題を思考や調査・分析によって解決し、その結果を論理的に社会に発信できる人

これらの資質・能力を、筆記試験、面接、提出書類により総合的に評価します。

流通科学研究科 3つのポリシー(令和3年度以前入学生適用)

【教育目標】

流通科学研究科は、流通業、マーケティング、ロジスティクス関連の知識及び企業経営を中核にした教育を理論と実践を通じて行うことにより、流通業、一般企業のマーケティング、ロジスティクス等の流通関連分野で、確固たる知識・能力に基づいて状況の変化に柔軟に対応できる、広く社会において指導的活躍が期待される人材及び当該分野における研究者を育成します。

【ディプロマポリシー】

本研究科は、次の能力を備え、所定の単位を修めた者に修士（流通科学）の学位を授与します。

1. マーケティング分野又はマネジメント分野における専門的知識と、両専攻分野における基本的実践遂行能力を身に付けている者。

【カリキュラムポリシー】

本研究科のカリキュラムは、本学流通科学部の教育研究分野と連動させ、研究指導及び流通専門職を育成することを基本方針として編成しています。

1. 基礎科目を「各系共通科目」の区分に配置する。
2. 専門科目を「流通マーケティング系」と「流通マネジメント系」の2つの系統に区分して配置する。
3. 専門科目の各系に、企業実習を通して、より高度な専門的知識・技術を習得することを目標とする。
「特別実習」科目、修士論文作成に資する知識及び技能を習得するための「特別演習」科目を配置する。
4. 学修成果については、各授業科目のシラバスに明記した成績評価基準に基づき厳格な成績評価を行う。また、修士論文については、論文審査基準に基づき、主査1名、副査2名により総合的な評価を行う。

【アドミッションポリシー】

本研究科は、次のような資質と能力と意欲を備えている者を受け入れています。

1. マーケティング分野又はマネジメント分野の基礎的知識を備えている者
2. マーケティング分野又はマネジメント分野の基本を理解し、適切な問題解決能力を修得しようとする意欲と探究心を持っている者
3. 発見した課題を思考や調査・分析によって解決し、その結果を論理的に社会に発信できる者

これらの資質・能力を、筆記試験、面接、提出書類により総合的に評価します。

流通科学研究科 学位論文審査基準

【修士論文】

修士論文の審査にあたっては、ディプロマポリシーに基づき、以下の項目について主査 1 名と副査 2 名により総合的に評価し、可否を判定する。

1. 自ら主体的に取り組んだ研究成果であること
2. 先行研究の検討・吟味が十分にされたうえ、新規性や独自性を有していること
3. 論文の題目、構成、内容が適切であること
4. 研究目的および論旨が明瞭であること
5. 文献資料・事実調査が十分になされていること
6. 分析・考察に独自性がみられること
7. 研究方法が研究目的・内容に即した適切なものであること
8. 文献が適正に引用されていること
9. 公開審査会における発表および質疑応答が、明確かつ的確に行われたこと

令和4年度 流通科学研究科 所属教員一覧

課程	系	担当教員名
修士	流通マーケティング系	◎浅岡 由美
		◎姉川 正紀
		◎片山 富弘
		◎西島 博樹
		◎朴 晟材
		○徐 涛
		○手嶋 恵美
		○中川 隆
	流通マネジメント系	◎日野 修造
		◎前田 卓雄
		○吉川 卓也
		○橋本 敦夫
		○水島多美也

◎研究指導教員

○研究指導補助教員

流通科学研究科 修士課程(令和4年度以降入学生に適用)

系	授 業 科 目	開講年次		単位数	
				必修	選択
各系共通 (基礎科目)	流通科学特論	1・2	後学期		2
	経営学特論	1・2	前学期		2
	マーケティング・マネジメント特論	1・2	前学期		2
	経済学特論	1・2	後学期		2
	アジア経済特論	1・2	後学期		2
	統計学特論	1・2	後学期		2
	研究調査法特論	1・2	前学期		2
	国際コミュニケーション特論	1・2	後学期		2
	情報処理特論	1・2	前学期		2
経営学系科目	経営管理特論	1・2	前学期		2
	経営組織特論	1・2	前学期		2
	経営戦略特論	1・2	後学期		2
	人的資源管理特論	1・2	後学期		2
	グローバル経営特論	1・2	前学期		2
	ベンチャー経営特論	1・2	後学期		2
	経営情報特論	1・2	後学期		2
	財務会計特論	1・2	前学期		2
	管理会計特論	1・2	前学期		2
	法人税法特論	1・2	前学期		2
	所得税法特論	1・2	後学期		2
	財務諸表分析特論	1・2	前学期		2
	コーポレート・ファイナンス	1・2	後学期		2
商学系科目	マーケティング戦略特論	1・2	後学期		2
	ブランド・マーケティング特論	1・2	前学期		2
	サービス・マーケティング特論	1・2	後学期		2
	ソーシャル・マーケティング特論	1・2	前学期		2
	グローバル・マーケティング特論	1・2	後学期		2
	デジタル・マーケティング特論	1・2	前学期		2
	消費者行動特論	1・2	後学期		2
	流通チャネル特論	1・2	前学期		2
	食品流通特論	1・2	前学期		2
	流通政策特論	1・2	後学期		2
	ロジスティクス戦略特論	1・2	前学期		2
	国際物流管理特論	1・2	後学期		2
専門演習科目	アカデミックライティング	1	前学期	2	
	フィールドリサーチ	1・2	後学期		2
	流通科学演習 A	1・2	通年	2	
	流通科学演習 B	1・2	通年	2	
	流通科学演習 C	1・2	通年	2	
	流通科学演習 D	1・2	通年	2	

流通科学研究科 修士課程(令和3年度以前入学生に適用)

系	授 業 科 目	開講年次		単位数	
				必修	選択
各系共通 (基礎科目)	マーケティング・マネジメント特論	1・2	前学期		2
	統計学特論	1・2	後学期		2
	研究調査法特論	1・2	前学期		2
	経済学特論	1・2	後学期		2
	アジア経済特論	1・2	後学期		2
	国際コミュニケーション特論	1・2	後学期		2
	情報処理特論	1・2	前学期		2
	流通科学特論	1・2	後学期		2
	アカデミックライティング	1	前学期	2	
流通マーケティング系	マーケティング戦略特論	1・2	後学期		2
	ブランド特論	1・2	前学期		2
	サービスマーケティング特論	1・2	後学期		2
	ソーシャル・マーケティング特論	1・2	前学期		2
	グローバル・マーケティング特論	1・2	後学期		2
	マーケティングリサーチ特論	1・2	前学期		2
	消費者行動特論	1・2	後学期		2
	流通チャネル特論	1・2	前学期		2
	食品流通特論	1・2	前学期		2
	流通政策特論	1・2	後学期		2
	ロジティクス戦略特論	1・2	前学期		2
	国際物流管理特論	1・2	後学期		2
	流通マーケティング特別実習	1・2	通年		2
	流通マーケティング特別演習	1～2	通年	6	
流通マネジメント系	経営管理特論	1・2	前学期		2
	経営組織特論	1・2	前学期		2
	経営戦略特論	1・2	後学期		2
	人事・労務管理特論	1・2	後学期		2
	グローバル経営特論	1・2	前学期		2
	ベンチャー経営特論	1・2	後学期		2
	経営情報特論	1・2	後学期		2
	財務会計特論	1・2	前学期		2
	管理会計特論	1・2	前学期		2
	国際会計特論	1・2	後学期		2
	財務諸表分析特論	1・2	前学期		2
	投資決定特論	1・2	後学期		2
	流通マネジメント特別実習	1・2	通年		2
	流通マネジメント特別演習	1～2	通年	6	

入学から学位授与までの流れ (流通科学研究科 修士課程)

入学前

研究指導教員との面談 研究計画書(案)の作成

1年次

4月初旬

履修登録
「履修上の注意事項」をよく読み、期日までにweb上で履修登録を行ってください。 課程修了1年前(=1年次末)までに16単位以上を修得していなければ、2年次で修士論文の提出ができなくなりますので、ご注意ください。(学位規程第4条1項)

4月下旬

研究計画書の提出
様式をUNIPAからダウンロードし、本人・研究指導教員捺印のうえ期日までに教務部へ提出してください。

4月下旬

研究計画書の提出
様式をUNIPAからダウンロードし、本人・研究指導教員捺印のうえ期日までに教務部へ提出してください。 ※1年次の「研究経過・成果または準備状況」も必ず記入してください。

5月中旬

論文テーマの提出
期日までに研究指導教員をとおりて教務部へ提出してください。

5月下旬

論文審査委員の選出
提出された論文テーマをもとに、論文審査委員3名(主査1名、副査2名)が選出されます。 主査は研究指導教員、副査はテーマに関連する教員が担当します。 審査委員決定後は、掲示にてお知らせします。

10月下旬

中間発表会
1題30分程度(質疑応答含む)で審査が行われます。

1月中旬

修士論文の提出
修士論文審査申請書1部、主論文3部、修士論文概要書4部を、研究科長・研究指導教員捺印のうえ、期日までに教務部へ提出してください。各種様式は、UNIPAからダウンロードできます。 なお、自分が過去に論文として発表したものがあれば、参考論文(3部)を添付することも可能です。 [参考]修士論文書式…A4版、横書き、明朝体活字10.5ポイント、1行40字、1ページ36行、20,000字以上若しくは15ページ以上。縦型、左綴じ(余白:左3.5cm、右2.5cm、上3cm、下3cm)、それぞれホッチキスやクリップ等でとめてください。

1月中旬～
2月上旬

修士論文公開審査会
1題30分程度(質疑応答含む)で審査が行われます。

審査終了後
1週間以内

修士論文(最終版)の提出
公開審査会後、修正等があった場合は整備したうえ、紙媒体1部及びデータを提出してください。 ※修了者全員の修士論文を1冊にまとめるため、提出期日を厳守してください。

2月中旬

修士論文審査会
研究指導教員により、修士論文の審査(合否判定)が行われます。

2月下旬

学位授与の判定
履修授業科目の単位修得及び論文審査結果により、学位授与の判定がなされます。

2月下旬

学長による修了の認定

3月中旬

学位授与
学位記授与式後、研究科ごとのセレモニーにおいて、研究科長から学位記が授与されます。 また、当該年度分の修士論文集をお渡しします。

学調査等

研究指導教員と相談のうえ、調査や学会に行く場合は、旅費や宿泊費を特別研究費から支出することが出来ます。(支出に制限あり) 詳細は「大学院生特別研究費の取り扱いについて」をご参照ください。事前には教務部へご相談ください。

修士論文の作成

論文審査